

阪和電子工業株式会社



代表取締役
長谷部 巧

半導体評価用測定器及び
検査機を開発・製造

和歌山県
和歌山市大垣内689-3

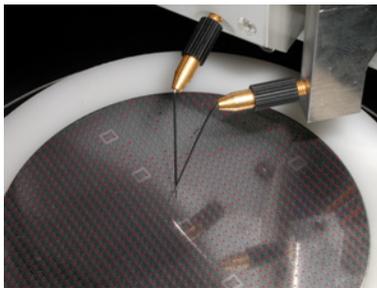
1976年(昭和51年)設立
TEL 073-477-4435

<http://www.hanwa-ei.co.jp>

半導体評価用測定器の分野において、静電気放電（ESD）技術を用いて、半導体の品質管理に不可欠な評価・解析用検査装置を開発・製造し、国内シェア70%を誇る。

長年にわたる積極的な研究開発を継続し、静電気放電（ESD）検査装置のトップメーカーに

半導体評価用測定器の分野において、長年にわたり積極的な研究開発と改良を行った結果、良質な静電気放電（ESD）波形を発生させる技術を確立した。この技術を駆使し開発した静電気放電（ESD）破壊自動測定器・解析装置は国内市場に確固たる地位を築き、国内シェア70%を誇る。



ウェハー対応 ESD 自動測定器



多ピン対応 ESD 自動測定器

半導体素子の信頼性確保への高まりと需要の拡大

半導体素子のさらなる高集積化に伴い、信頼性確保がより重要になるが、技術的には微細化による静電気放電等への弱体化に対する対策が不可欠になる。安心して活用できる半導体素子を市場に供給するために、その性能・品質の評価はますます重要となる。そのため半導体評価用測定器・解析装置の需要はますます高くなると予想される。

最良のモノ作り活動を継続し、共に成長

同社は長年の研究開発により蓄積された応用技術を、ハード・ソフトの両面にわたり活用し、電子機器のOEM製品の開発・設計製作等にも活用している。さらに次世代の市場の要求に応えるべく技術革新を模索し、欧州の次世代先端技術研究機関との共同研究も実施するなど、さらなる研究開発に積極的に取り組んでいる。時代に合った最良のモノ作り活動を常に心がけ、その活動を通じて、社員の成長と社会の進展への貢献を目指している。